

地域ICT推進協議会（COPLI）

2023年度 総会資料



日時：2023年5月31日（水）15:30～

場所：会場「itsu葉（いつば）」+WEB上で配信

目 次

地域ICT推進協議会 2022年度 総会次第	2
2022年度 事業報告	3
2022年度 活動報告	9
2022年度 収支決算報告書	31
2022年度 監査報告書	32
地域ICT推進協議会(COPLI) 役員等一覧(案)	33
2023年度 事業計画(案)	34
2023年度 委員会・プロジェクト 活動計画(案)	39
2023年度 収支予算書(案)	46
地域ICT推進協議会(COPLI) 会員一覧	47

地域ICT推進協議会 2023年度 総会次第

- (1) 日時:2023年5月31日(月) 15:30～20:00
- (2) 会場:兵庫県神戸市中央区京町67 KANJUビル2F 「itsu葉(いつば)」
- (3) プログラム:

時 間	行事名	内 容 (敬称略)
15:30 ～ 16:30	COPLI 総会	1. 開会あいさつ 会長 藤井 信忠 2. 議題 (1) 2022年度 事業報告 (2) 2022年度 活動報告 (3) 2022年度 収支決算報告 (4) 2022年度 監査報告 (5) 役員紹介 (6) 2023年度 事業計画 (7) 2023年度 活動計画 (8) 2023年度 収支予算 3. その他報告事項
16:45 ～ 17:45	COPLI セミナー	テーマ: アントレプレナーシップ 講 師: 栗生万琴氏 (株式会社LEO 代表取締役CEO / なごのキャンパス 企画運営プロデューサー)
18:00 ～ 20:00	交流会	

2022年度 事業報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(敬称略)

A. 総会

日 時:2022年5月30日(月)15:45～

場 所:会場「GIORONE」+ WEB上で配信

○総会

- 議題: (1) 2021年度 事業報告
(2) 2021年度 活動報告
(3) 2021年度 収支決算報告
(4) 2021年度 監査報告
(5) 規約の改定
(6) 役員紹介
(7) 2022年度 事業計画
(8) 2022年度 活動計画
(9) 2022年度 収支予算

○COPLIセミナー

テーマ: 健康経営やD&Iの視点からも注目されるフェムテックについて

講 師:

- ① 木村 恵氏(大手日系損害保険会社 / Femtech Community Japan事務局)
- ② 角田 夕香里氏(vivola株式会社 代表取締役 CEO)

B. 幹事会

○第1回幹事会

日 時:2022年4月6日(水)18:00～

場 所:Open Space DEP.

出席幹事:6人

議 題:(1)入会承認

(2)KOBEスマートシティ推進コンソーシアム設立総会について

(3)総会・基調講演について

(4)総会・会場案について

(5)2022年度予算案について

(6)総会冊子作成について

(7)各委員会・各プロジェクトからの報告

○第2回幹事会

日 時:2022年5月11日(水)18:00～

場 所:センタープラザ西館会議室1号室

出席幹事:7人

議 題:(1)新規会員の入会承認

(2)沖縄県大阪事務所さまが来訪

(3)神戸市教育委員会さまからの講演依頼

(4)神戸市会議員さまからのご相談

(5)2022年度総会について

(6)2022年度予算について

(7)2021年度監査内容報告

(8)委員会 および プロジェクトからの報告

(9)その他

○第3回幹事会

日 時:2022年6月1日(水)18:00～

場 所:ミント神戸14F LIBERRA / CINEMA-EYE Lab.

出席幹事:6人

議 題:(1)新規会員の入会承認

(2)退会承認

(3)兵庫ニューメディア推進協議会

(4)委員会 および プロジェクトからの報告

(5)その他

(6)事務局から引き続き挨拶

○第4回幹事会

日 時:2022年7月6日(水)18:00～

場 所:センタープラザ西館会議室1号室

出席幹事:5人

議 題:(1)会員様からの情報
(2)退会承認
(3)退会処分となった会員様について
(4)イベント案内
(5)委員会およびプロジェクトへの参加状況について
(6)事務局長の業務負担について
(7)COPLI全体の活動状況について
(8)委員会 および プロジェクトからの報告

○第5回幹事会

日 時:2022年8月3日(水)18:00～

場 所:神戸電子専門学校 管理棟1F

出席幹事:5人

議 題:(1)神戸市様からのご相談
(2)委員会およびプロジェクトへの参加状況について
(3)委員会 および プロジェクトからの報告

○第6回幹事会

日 時:2022年9月7日(水)18:00～

場 所:アイクラフト株式会社

出席幹事:7人

議 題:(1)新幹事の選任
(2)広報チームの活動について(大橋幹事より)
(3)イベント案(大橋幹事より)
(4)COPLIの会計税区分について(事務局より)
(5)神戸市会議員様との意見交換会 その後について(山本副会長より)
(6)委員会 および プロジェクトからの報告

○第7回幹事会

日 時:2022年10月5日(水)18:00～

場 所:株式会社DIIIIG

出席幹事:10人

議 題:(1)神戸商工会議所様ご来訪
(2)078実行委員会様より後援依頼
(3)神戸市会議員様との意見交換会 その後(山本副会長より)
(4)お知らせ(藤井会長より)
(5)委員会 および プロジェクトからの報告

○第8回幹事会

日 時:2022年11月2日(水)18:00～

場 所:リベラ(株) 神戸支社

出席幹事:10人

議 題:(1)退会承認
(2)イベント共催
(3)活動案(山本副会長)
(4)神戸市会議員との意見交換会について
(5)078KOBЕについて
(6)委員会 および プロジェクトからの報告

○第9回幹事会

日 時:2022年12月7日(水)18:00～

場 所:(株)ワイドソフトデザイン

出席幹事:11人

議 題:(1)神戸市会議員との意見交換会について
(2)委員会 および プロジェクトからの報告

○第10回幹事会

日 時:2023年1月11日(水)18:00～

場 所:アイクラフト(株)

出席幹事:8人

議 題:(1)入会承認
(2)役員交代について(2022年度→2023年度)
(3)イベント協力
(4)委員会およびプロジェクトからの報告

○第11回幹事会

日 時:2022年2月5日(水)18:00～

場 所:神戸電子専門学校

出席幹事:11人

議 題:(1)入会会員紹介
(2)入会承認
(3)役員改選について
(4)各委員会・各プロジェクトからの報告
(5)依頼事項

○第12回幹事会

日 時:2022年3月1日(水)18:00～

場 所:アイクラフト(株)

出席幹事:8人

議 題:(1)新入会員ご挨拶
(2)退会承認の取り消し
(3)役員改選について(役員選考委員会より)
(4)広報について(大橋幹事より)
(5)2023 年度総会について
(6)委員会 および プロジェクトからの報告

C. COPLIセミナー等 主催事業

○COPLセミナー「Z世代を味方につけるアプローチ方法」

日 時:2022年9月2日(金)16:00～17:30

場 所:神戸国際会館&オンライン

講 師:藤本耕平 氏 (株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ
シニアプランニングディレクター 兼 若者プロジェクトリーダー)

内 容:Z世代の「情報収集の5つの行動パターン」と、これからのSNS戦略について

○COPLIセミナー「日本の18歳『絶望世代』に、いま私たちの世代ができること」

日 時:2022年12月20日(火)17:00～18:00

場 所:itsu葉

講 師:湯川カナ 氏 (一般社団法人リベルタ学舎 代表)

内 容:「絶望している次世代」とともに未来を変えられないかと実施している中高生向けアントレプレナーシップ教育プログラム『ワガママSDGs』を通じて見えてきたことを共有いたします。

○2022年度 会員交流会

日 時:2022年12月20日(火)18:30～20:30

場 所:itsu葉

対 象:COPLI会員のみ

○COPLIセミナー「ソフトウェア開発でイノベーションを起こす土壌 ～Googleおよびシリコンバレー文化～」

日 時:2023年3月3日(金)16:00～17:30

場 所:神戸レガッタ&アスレチッククラブ

講 師:石原 直樹 氏 (シスメックス株式会社 エグゼクティブエンジニア)

内 容:Google を始めとする企業では、いかにイノベーションを起こしているのか、その背景にある企業文化や仕組みを中心に解説する。

D. 共催事業

○サイバーセキュリティセミナー2022

日 時:2022年12月14日(水)14:00～17:30

場 所:みなと銀行セミナーホール

内 容:「すべての会社が影響を受けるサプライチェーンリスクにどう対応する?」と題しまして、兵庫県警察サイバーセキュリティ対策アドバイザー三木剛氏、川口洋氏の両名に加え、株式会社トライコーダ代表取締役上野宣様をお招きして開催いたします。

主 催:兵庫県サイバー犯罪対策ネットワーク

E. 情報発信活動

○メールニュース「COPLIニュース」の発行・配信

2023年3月31日までに、第270～274号を発行

「会員メール」は随時発行

発行人:地域ICT推進協議会 会長 藤井 信忠

編集作業:地域ICT推進協議会 事務局

F. 事務局運営

○業務委託

委託先 :株式会社ジャーニーゾーン

委託期間:2022年6月1日～

2022年度 活動報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 主催イベント

(1) COPLIセミナー

「Z世代を味方につけるアプローチ方法」

(2) COPLIセミナー

「日本の18歳『絶望世代』に、いま私たちの世代ができること」

(3) COPLIセミナー

「ソフトウェア開発でイノベーションを起こす土壌 ～Googleおよびシリコンバレー文化～」

2. 常設委員会

(1) 将来構想委員会

リーダー 本丸 勝也(リベラ株式会社)

(2) IT地域連携委員会

リーダー 土肥 豊和(株式会社ワイドソフトデザイン)

ー神戸市エンジニア創出事業(IT地域連携委員会内)

リーダー 岡田 直己(神戸電子専門学校)

(3) まちづくり推進委員会

リーダー 田中 真一(株式会社デンソーテン)

3. プロジェクト(PJ)

(1) COPLIネットワーキングPJ

リーダー 秋國 寛(株式会社DIIIG)

(2) スマートシティ2.0映像都市計画PJ

リーダー 末廣 大和(Intelligence Design株式会社)

(3) WEB改修PJ

リーダー 大橋 一馬(株式会社ジャーニーゼン)

(4) ICTを活用したインクルーシブ社会検討PJ

リーダー 佐合 純(iC株式会社)

(5) シリコンバレー流エンジニア育成PJ

リーダー 山本 裕計(アイクラフト株式会社)

COPLIセミナー
『神戸市が取り組む人間中心のスマートシティの実現に向けて』

リーダー 本丸 勝也

1. 概要

日 時:2022年9月2日(金) 16:00～17:30

場 所:神戸国際会館&オンライン

講 師:藤本耕平 氏 (株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ
シニアプランニングディレクター 兼 若者プロジェクトリーダー)

対 象:COPLI会員 及び COPLIに興味をお持ちの方

参加費:無料

動 画:<https://youtu.be/wJYNyR-41FM>

2. 活動報告

「Z世代を味方につけるアプローチ方法」として、株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ シニアプランニングディレクター 兼 若者プロジェクトリーダーの藤本氏よりご講演いただきました。

ご自身の経験とデータをもとにご説明された、Z世代の「情報収集の5つの行動パターン」とこれからのSNS戦略については、BtoCのみならず、BtoB、DtoCなど、COPLI会員企業にとっても幅広い分野に応用できる広報戦略の素地となりえるのではないのでしょうか。



COPLIセミナー
『日本の18歳『絶望世代』に、いま私たちの世代ができること』

リーダー 本丸 勝也

1. 概要

日 時:2022年12月20日(火)17:00～18:00

場 所:itsu葉

講 師:湯川カナ 氏 (一般社団法人リベルタ学舎 代表)

対 象:COPLI会員 及び COPLIに興味をお持ちの方

参加費:無料

動画:<https://youtu.be/zjiDumhQACg>

2. 活動報告

湯川カナ氏が実践している「ワガママSDGs」を事例に、今のワカモノたちに、私たちがオトナとして神戸の中で何を見せてあげることができるかについて問いを立てる内容だった。

理想から安易に思いつくような「綺麗事の押し付け」では情報過多なワカモノには響かない。

むしろ私たち自身がまずはワカモノから(に)学ぶことで、新しい価値観を示すことができるのではないだろうか。



COPLIセミナー

『ソフトウェア開発でイノベーションを起こす土壌 ～Googleおよびシリコンバレー文化～』

リーダー 山本 裕計

1. 概要

日 時:2023年3月3日(金) 16:00～20:00

場 所:神戸レガッタ&アスレチッククラブ

講 師:石原 直樹(シスメックス株式会社 エグゼクティブエンジニア)

対 象:COPLI会員 及び COPLIに興味をお持ちの方

参加費:無料

2. 活動報告

神戸出身で、米国Googleで活躍後、神戸に戻り現在はシスメックスでエンジニアとして勤務されている石原直樹氏に講演をしていただいた。

Googleではエンジニアが煩わしいことをしなくていいように徹底的に省力化が図られ、利用者向けサービスに展開されている。利用者向けサービスはスケールするかどうかを判断基準にしており、エンジニアが煩わしいことをせずとも、高い収益を上げる土壌となっている。また、石原氏は若手エンジニアの育成プロジェクト「ALPHA PROJECT」にも取り組まれており、その紹介もあった。COPLIとしても、来年度のALPHA PROJECTに積極的に協力をしていきたい。

来場者は、学生から企業の若手エンジニア、経営・管理層までさまざまであったが、若手参加者からALPHA PROJECTへの関心がうかがえたことは成果であった。



委員会・プロジェクト活動報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

2. 常設委員会

(1) 将来構想委員会

リーダー 本丸 勝也(リベラ株式会社 神戸支社長)

活動目的	・ICT分野、街づくり等における先進企業の取組みの視察および交流 ・COPLI会員企業へのセミナー開催等による学びの場の創出
メンバー	リーダー 本丸 勝也(リベラ株式会社 神戸支社長) 辻村 謙一(専門学校神戸カレッジ・オブ・ファッション 理事) 永吉 一郎(株式会社神戸デジタル・ラボ 代表取締役社長)
活動実績	2022年5月30日 2022年度 COPLI総会&セミナー 16:45- セミナー 健康経営やD&Iの視点からも注目されるフェムテックについて ・木村 恵氏(大手日系損害保険会社/Femtech Community Japan事務局) ・角田 夕香里氏(vivola株式会社 代表取締役 CEO) 18:00- 交流会 2022年9月2日 2022年度 COPLIセミナー 16:30- セミナー Z世代を味方につけるアプローチ方法 ・藤本 耕平氏(株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ シニアプランニングディレクター 兼 若者プロジェクトリーダー) 2022年12月20日 2022年度 COPLIセミナー&交流会 17:00- セミナー 日本の18歳『絶望世代』に、いま私たちの世代ができること ・湯川カナ氏(一般社団法人リベルタ学舎代表) 18:30- 交流会
まとめ	視察を数本企画していたが、先方とCOPLI幹事会でのタイミングが合わず(かつ、コロナ禍でもあり)実現できなかった。セミナーについても、交流会を含めもう少し頻度を増やす必要があったと反省している。

さて、今後について私に大したアイデアがあるわけではないため、ChatGPT(model:GPT-4)に相談してみた。今後担当される方への参考になれば幸いである。

Q:私は情報系の企業、行政からなる会員で構成された団体のセミナー企画(勉強会の企画)を担当をしています。コロナ禍のこともあり、昨年度まではオンラインを中心にセミナーを実施してきましたが、コロナが収束しつつある今、会員に向けては対面形式に移行すべきでしょうか。またそれらが期待されているのでしょうか。会員企業の気持ちになって答えていただけますと幸いです。

A:会員企業の立場から考えると、対面形式のセミナーや勉強会が期待されているでしょう。コロナ禍が収束に向かっているとの状況を受け、人々は対面での交流や情報共有を求める傾向があります。しかし、完全にオンラインから対面形式への移行を急ぐのではなく、会員企業の意見やニーズを十分に聞いてから判断することが重要です。

以下の点を検討して、対面形式への移行を検討してみてください。

- 1.アンケート調査: 会員企業にアンケートを実施し、対面形式のセミナーに対する意欲や期待度を把握しましょう。
- 2.時期の検討: コロナの収束状況や各地域の感染状況を考慮し、対面形式のセミナーを開始する適切な時期を見極めましょう。
- 3.ハイブリッド形式: オンラインと対面の両方を取り入れたハイブリッド形式のセミナーを検討してみましょう。これにより、対面が難しい参加者や遠方の会員企業にも対応できます。

対面形式のセミナーは、会員企業同士のコミュニケーションやネットワーキングの機会を提供することで、団体全体の活性化にも繋がるでしょう。ただし、感染リスクや会員企業の状況を考慮し、適切な形態とタイミングで実施することが重要です。

Q:有難うございます。追加で教えてください。AIの進化が指数関数的に伸びる中、私たちのような情報系の企業、行政からなる会員で構成された団体は今後、どのようなテクノロジー分野にアンテナを張りながらセミナーを実施すべきでしょうか。なお、会員には技術者だけでなく、経営者も多いため、経営の立場から必要と考えられる分野でお願いいたします。

A:技術者だけでなく経営者も含まれる会員向けに、経営の立場から必要とされるテクノロジー分野に焦点を当てたセミナーを実施する場合、以下

の分野を考慮してみてください。

1. デジタルトランスフォーメーション (DX): 経営者にとって、デジタル技術を活用してビジネスモデルや業務プロセスを変革するデジタルトランスフォーメーションの取り組みや事例紹介が役立ちます。
2. データドリブンな意思決定: ビッグデータやAI技術を活用したデータ分析により、経営判断をサポートする方法や事例を紹介しましょう。
3. サイバーセキュリティ: 企業や行政組織における情報セキュリティリスク管理や対策、最新のセキュリティ技術に関する知識が重要です。
4. IoT (インターネット・オブ・シングス) と産業4.0: IoT技術やスマートファクトリー、スマートシティなどの産業4.0に関連する動向や導入事例を取り上げましょう。
5. クラウドコンピューティングとエッジコンピューティング: クラウドサービスの活用方法やエッジコンピューティングの最新動向を紹介して、経営者が適切なITインフラ選択ができるようにしましょう。
6. AI倫理と法規制: AI技術の普及に伴い、倫理的な問題や法規制に対応するための知識やガイドラインを提供することが重要です。
7. テクノロジーと人材マネジメント: リモートワークやフレキシブルワークなど、最新の働き方を支えるテクノロジーと、それに伴う人材マネジメントの方法を紹介しましょう。

これらの分野において、最新の技術動向や導入事例、成功事例を紹介することで、経営者が現代のテクノロジー環境での経営戦略やリスク管理をより適切に行うことができるようになります。



(2)IT地域連携委員会

リーダー 土肥 豊和(株式会社ワイドソフトデザイン 代表取締役)

活動目的	COPLIの従来からの活動(企業間ビジネスマッチング、企業と学生のマッチング、プログラミング教育導入支援など)を何らかの形で継続していくというポリシーを基本とし、Smart City Kobe における新しい出会い(マッチング)の創造につなげていく。
メンバー	リーダー 土肥 豊和(株式会社ワイドソフトデザイン 代表取締役) 安保 武志 (神戸市企画調整局) ※ 花田 宏 (一般会員) 飛田 裕 (株式会社ワイドソフトデザイン) 中嶋 諭 (株式会社ソラド 代表取締役) 大橋 一馬 (株式会社ジャーニーゼン 代表取締役) 岩崎 雅也 (株式会社ハック) ※ 奥村 紀之 (神戸松陰女子学院大学) ※ 戸田 克己 (株式会社ドアズ 代表取締役) (※ 今年度から新加入)
活動実績	【活動実績】 (定例ミーティング) 第10回 4月15日 16:00～ 第11回 6月3日 15:00～ 第12回 7月15日 10:00～ 第13回 8月26日 10:00～ 第14回 9月30日 10:00～ 第15回 10月28日 10:00～ 第16回 11月18日 10:00～ 第17回 12月16日 10:00～ 第18回 1月20日 10:00～ 第19回 2月17日 10:00～ 第20回 3月24日 10:00～ (活動内容) (1) プログラミング教育支援活動として神戸市教育委員会に対してプログラミング教育の教員養成セミナーを実施。フォローアップの研修会にも参加。また後半は、インクルーシブ社会検討プロジェクトと共同で地域福祉センターの有効活用の一環として、プログラミング体験教室を企画。本庄、六甲アイランドの2箇所での実施を計画中。 (2) 就職フェアのような学生とのマッチングイベントよりも、IT業界や企業への関心を高めてもらうことに注力。昨年末には大学生(1,2回生)との座談会を実施。COPLIが主体のイベントよりも学内のイベントの方が学生へは拡散・浸透しやすいことから、来年度は2回生と3回生の授業の数コマをCOPLIで担当する。現在、企画調整中。

【イベント実績】

(1)「プログラミング指導教員育成研修」～教科の中に溶け込むプログラミング教育～

日時:2022年6月7日(金) 15:30～17:00

場所:神戸市総合教育センター

参加:神戸市内の小学校教員(現地参加3名、オンライン参加十数名)

講師:株式会社ワイドソフトデザイン 飛田 裕

現地参加とオンライン参加の教員の方々と練習問題や質疑応答をしながら、プログラムを作る操作や作業がプログラミング教育ではないことを強調。正しく伝えないとコンピュータは動かないという意味では、算数や理科の授業とは限らず、国語の授業の中でプログラミング的思考や論理を教えてもいいのではないかと。また、失敗(エラー)と修正を繰り返して、正しい論理(アルゴリズム)にたどり着くので、どんどん失敗をさせてください、正解は一つではありませんといった内容を先生方に伝えることが出来た。

(2)「大学生とCOPLIとの座談会」～IT業界・企業は理系だけの職場ではない～

日時:2022年11月28日(月) 17:00～19:30

場所:神戸松蔭女子学院大学

参加:神戸松蔭女子学院大学の学生と教員。COPLI幹事企業。

COPLI会員企業と地元学生のマッチングイベントの一環として実施した。就職活動というフェーズではなく、IT企業とはどういうものを学生に知ってもらい、理系・情報系学部以外の学生にも興味を持ってもらうことを目的とした。会社説明会というイメージではなく、交流会みたいな形式で行った。試験的に行った最初のマッチングイベントということもあり、参加メンバーは幹事企業の女子社員を中心に組んでみた。女子大ということもあり女子社員との会話ははずんでいたが、より多くの学生と接触しようと思うなら、学内イベントへの参加が適しているため、来年度以降は授業に組み込んでもらう活動に続ける。



	(委員会の様子)  (委員会の様子)  (プログラミング指導教員育成研修の様子)
まとめ	まとめ 今年度は委員会に3人のメンバーが加わり、各メンバーの得意なことや抱えている課題が、そのまま委員会活動のテーマにつながって活動できた。また、他のプロジェクト(インクルーシブ社会検討プロジェクト)と連携することにより、昨年度より活動の幅を広げることができた。しかし、今のままでは委員会メンバーだけに負担がかかってくることになり、活動の継続が難しくなってくると予想される。COPLI会員企業の皆さんにとって、学生との接点や地域との接点はプラスになるはずなので、次年度のイベントには、会員企業の皆さんにも積極的に参加を呼び掛けていきたい。

神戸市エンジニア創出事業との連携PJ(IT地域連携委員会内)

リーダー 岡田 直己(神戸電子専門学校 教育第1部 IT分野 教員)

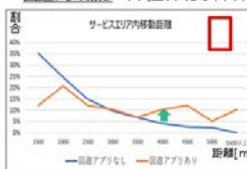
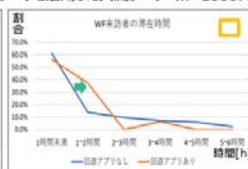
活動目的	COPLIにおいて、神戸市が進めるエンジニア創出事業と連携し、学生や若手エンジニアの育成を行う。エンジニアコミュニティ運営支援をすることで、エンジニアが育つ土壌を活性化させる。
メンバー	リーダー 岡田 直己(神戸電子専門学校 教育第1部 IT分野 教員)

	神戸市・GAOGAOGA株式会社(神戸市エンジニア創出事業 運営委託業者)
活動実績	22年度～ 次世代エンジニアが成長する街、神戸 として Kobe×Engineer's Labが本格運営 https://kobe-engr-lab.studio.site/ ● インターンシップのコーディネート、斡旋 ● Udemy(プログラミング学習などのeラーニングサービス)の学生・若手エンジニアへの無料提供制度開始→COPLI内、神戸電子専門学校内へ告知展開 ● エンジニアコミュニティとの連携 コロナ禍が若干残る中、各エンジニアコミュニティの勉強会,イベントの学生告知 まだ少数だが、学生のコミュニティ参加から企業様へのインターンシップへの誘導が徐々に行われる (神戸大学・兵庫県立大学・関西学院大学・神戸情報大学院大学・神戸電子専門学校など) ● 2023年3月～AIエンジニアコミュニティのインターンシップを活用したプロジェクト開始 劇場型アクアリウム「アトア(átoa)」様の動物解析プロジェクト COPLI会員企業様(株式会社 神戸デジタル・ラボ)様の支援で活動開始 実社会の生データを活用したデータサイエンス・AI分野の若手エンジニア育成に今後のPJ進捗に大きく期待する  Kobe x Engineer's Lab  (劇場型アクアリウム「アトア(átoa)」)

まとめ	コロナ禍が収まりを見せる中、22年度から高等学校カリキュラムから情報Ⅰという科目が必修になり、プログラミングは全ての高校生が情報Ⅰで勉強することになる。まだまだ男女格差が大きい、今後はITエンジニアを目指す若年層は飛躍的に増え、プログラミング教育の発展と若年層の持つ技術素養も比較的高くなると予想される。 産官学でその時代変化にしっかり対応した体制を作り、神戸が他の地域に負けないエンジニア創出ができる土壌を作ること、地域発展に貢献できると体感し、確信を深めている。
-----	---

(3) まちづくり推進委員会

リーダー 田中 真一(株式会社デンソーテン)

活動目的	再開発進む市街エリアにおいてICTサービスで貢献できないか探索。市民・来街者がワクワクと楽しめる街づくりを支援(回遊性向上)、街全体を活性化する取組みをCOPLIとして支援する。
メンバー	リーダー 田中 真一(株式会社デンソーテン) 日本地域創生学会) 大前和正、セキュリティコンサルタンツ田中克典
活動実績	活動実績 2022/3/24-2023/3/9 神戸スマートシティコンソーシアム運営委員会出席 ・三宮市街回遊性向上の取組みをプロジェクト登録完了・推進 ・2022/12に実証実験実施(w/KDL、NTT西等)し、回遊距離の伸長とクーポンなどの情報提供により、実店舗への来店が20%増。課題整理完了。    ふらふらしたこと ポイントゲット 所持pt. 360 pt ・回遊アプリ有り：実証実験結果 (n=67) ・回遊アプリ無し：同エリアにてキャリアデータを活用した人流データ (n=10507)  サービスエリア内移動距離  WEB来店者の滞在時間 回遊アプリなしは距離に応じて割合が減り、回遊アプリ有りの方が距離が長いケースでの人の割合が確保できている。 回遊アプリなしより、回遊アプリ有りの方が1～2時間の人の割合が多い傾向が確認できた。 2023/2/10 KOBEスマートシティフェア2023出展

	・取組み内容について講演:参考になった、大変参考になった:81%とトップクラス。 ・展示会:興味度1位(15展示中) 2022/10/27 委員会内意見交換にて、過去のインバウンドに対する北野エリアを含めた取組みも共有し、インバウンドに対する施策も以降検討とした。(現在は市民中心) 2023/3/1 全国小売市場総連合会 小林事務局長意見交換 ・回遊先としての市場の設定や魅力発信を24年度に向け実行 ・市場活性化事業であるマルシンマルシェの効果検証したい要望頂く 2023/3/2 神戸市会議員意見交換会 ・地元ICT産業の強化について提言 ・平野議員より、市場の事業マルシンマルシェの効果検証支援のお願い頂く
まとめ	・課題はユーザ獲得・定着性、回遊誘引先の自律的な参加獲得。経済的な持続可能性。 ・来期、スケールアップし、回遊誘引先である店舗にとって嬉しい人流予測見える化＋マーケティングツールの検討や、回遊誘引先までの移動手段のインフォメーション機能開発を進めたい。

3. プロジェクト

(1)COPLIネットワーキングPJ

リーダー 秋國 寛(株式会社DIIIIG)

活動目的	COPLI会員同士がつながりあう企画を行う。
メンバー	リーダー 秋國寛(株式会社DIIIIG) 奥村紀之さん(松陰女子大学)
活動実績	2022年10月6日 オンラインMTG:再度山ハイキングを企画 2022年10月25日 再度山ハイキング募集開始(募集にあわせて日程候補募集) 2022年10月31日 日程確定(11月5日) 2022年11月4日

	中止(コロナ災禍の影響もあるのかメンバーのみのため中止) 2022年12月20日 COPLIセミナー&交流会での交流会司会
まとめ	前年度2021年度は、COPLIの若手を集めてのプロジェクト立ち上げによって、ネットワーキング効果を図り、ある程度の成果は見込めた。2022年度は、コロナ禍があけることを見越し、飲み会、BBQ、ハイキングや釣りの検討をしたが、うまく回し切ることができなかった。 外的要因:コロナ禍による 内的要因:代表者の活動時間の確保ができていない

(2) スマートシティ2.0映像都市計画PJ

リーダー 末廣 大和 (Intelligence Design株式会社)

活動目的	スマートシティにおけるカメラ映像から得られるデータの利活用方法を検討する。 スマートシティ推進組織として、データ利活用をCOPLIが積極的に推進していることを体外的にアピールする。
メンバー	リーダー 末廣 大和 (Intelligence Design株式会社) 株式会社ジャーニーゾーン 大橋一馬 Intelligence Design 株式会社 糸永有輝 株式会社アルファミクス 加納勇樹 神戸情報大学院大学 大寺 亮 株式会社コネクトファクトリー 辰巳公規
活動実績	【活動実績】 定例mtgを月1~2回のペースで開催し、以下の活動を行なった ・常時データ計測環境の準備 ・データ取得から利活用に関する事例収集・共有、ディスカッション ・COPLIプラットフォーム(データ可視化)の仕様検討・開発 ・PR方法 【活動内容※主なものを抜粋】 ①「三宮センター街における防犯カメラを活用した映像解析」 期間:2022年10月1日~2023年3月31日 内容:IPカメラを三宮センター街1丁目商店街振興組合様ご協力のもと、

	商店街に新設。そのカメラ映像をクラウド映像解析基盤(IDEA platform)へアップロードし、三宮センター街1丁目エリアの人通りを解析した。 結果: 設置に関する生田警察署との調整、業者との調整に想定以上の時間を要したため、実際の開始は11/20ごろとなった。また、IPカメラが3/20ごろに故障してしまったため、データ取得期間としては2022/11/20~2023/3/24となった。その間は三宮センター街の京町筋十字路の歩行者動向を常時計測できた。 課題: 本取り組みでは次のような課題も見られた。 ・街の特性として調査用途でのAIカメラ設置についてはサポート体制についての整備をいただくために本格的な運用を目指す場合は民間企業で実績を積むことが必要だとわかった ・解析性能を向上させるためには理想の画角で映像を取得することが望ましいが、京町筋だとレイアウト(電源位置含)の関係もあり少し妥協した画角で実施せざるを得なかった ②COPLI プラットフォームのプロトタイプ開発 AIで解析した京町筋のデータを可視化するためのプラットフォームのプロトタイプ開発を実施。三宮の地図上に人流データを落とし込み、混雑具合を可視化する仕組みを開発。 今後: ・今回はAI解析による人流データを連携するところの実証ができた ・年齢や性別といった属性ごとのフィルタリング機能を追加するなどより詳細なデータを可視化できるようにしたい ・センサや神戸市のオープンデータや天候情報などを連携した可視化プラットフォームと進化させることも視野に入りたい ③「データ利活用に関するワークショップ」 日時:1月28日(土) 11:00~12:30 会場:Zoomオンライン開催@神戸情報大学院大学 司会者 :大寺 亮先生 ゲスト :本プロジェクトメンバー 大寺先生の授業の1コマをお借りし、データがあればどのようなまちづくりができるか、できそうかといった観点で、学生さんにプロジェクトメンバーが混じり、2チームに分けてディスカッションの後、学生さんたちにご発表いただくというワークショップを実施。 最初はデータ利活用について中々アイデアが出てこなかったが、ワークを進めていく中で意見が次第に出てくるようになり、最終的には1コマでは収
--	---

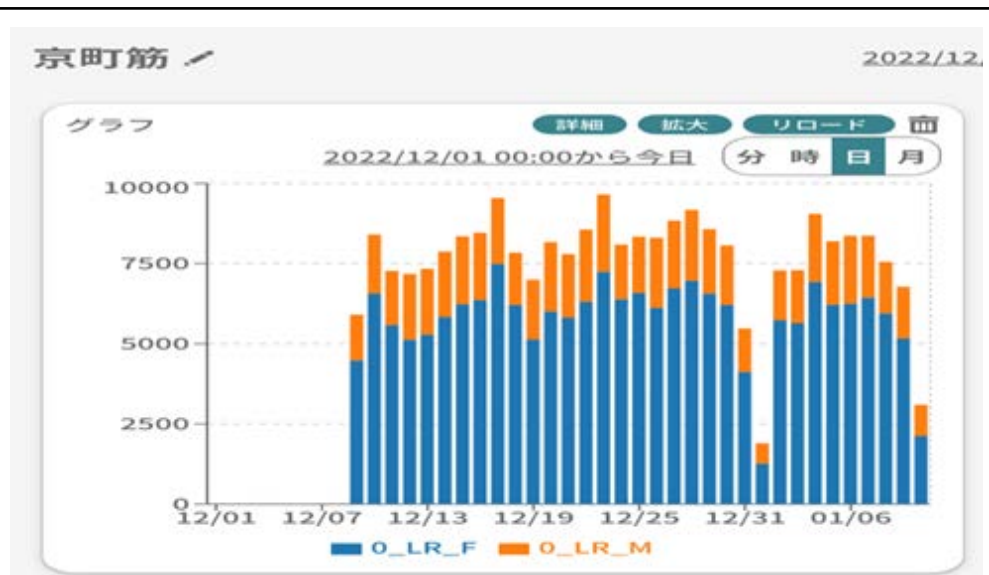
めることが難しいくらいディスカッションを続けることができた。改めてデータの利活用については置かれる立場によってアイデアが異なる面白さを感じることができた一方で社会実装できるものの少なさ(技術的難易度が高い)を感じたワークショップとなった。

利活用アイデア一覧：

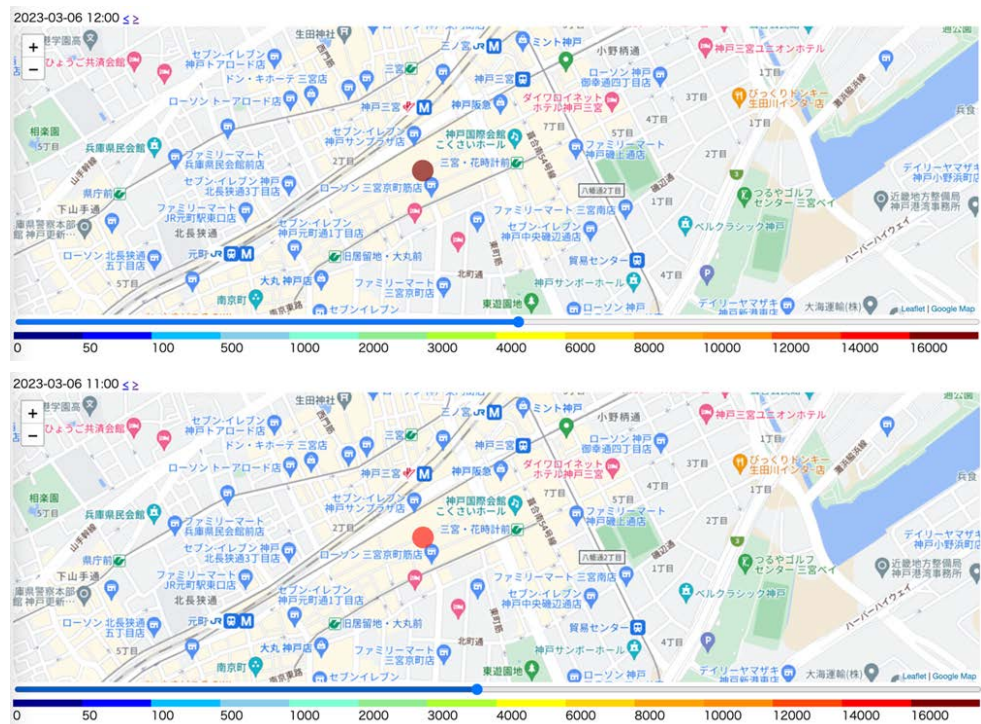
- 災害時の交通案内表示への適用
- スケートボードなど、禁止されているエリアの異常状態を把握することで防犯機能の強化
- 流行ファッションなどのトレンド分析
- 回遊ルートをベースとした店舗集客施策への応用
- テナントのリーシング料金の見直し

新設したカメラ映像と可視化結果





COPLIプラットフォーム(プロトタイプ)



2023年1月23日(土)神戸情報大学院大学 大寺先生の授業にてデータ
利活用検討に関するワークショップ開催の様子



三宮活性化のための人流流用方法

- 照明での誘導
- 2つのエリアごとで滞留時間がわかるので店への入店、通り抜け判別
→店への呼び込み
- 流行 服の色の確認 (大阪とか神戸で違うなど)
→AIでファッションセンスを図る
- 災害など交通インフラに対して人流コントロール 改札や出口
→大雪とか、韓国の事故などの予防
- 子供連れの把握
→子供用品を増やすことの店への提案 エリアごとの特色提案
- 駅 デジタルサイネージ、音 [発信]
→混雑情報 ⇒宣伝で混雑を緩和させる。 →広告を出す
- ドローンでの人流情報収集 (カメラ設置の手続き煩雑) [取得]

	コメント ■ お店⇄行政⇄客 の思い ■ 車のデータも取得可能 ■ 人流だけでなく車も ■ 店での画像データから店舗家賃に響くかもあまりとってほしくない店もある ■ 防犯 スケボやっていたらサイレン鳴らす トラックの24時間搬入状況 
まとめ	昨年度は映像解析と解析テーマを検討するところで終了したところに対し、今年度は常時計測からの可視化及びデータ利活用に関するワークショップを開催することができた。 ただ、本来目指していたCOPLIの活動を対外的にアピールする活動ができなかったため、次回以降はそちらに特化した活動も検討していきたい。

(1)WEB改修PJ

リーダー 大橋 一馬(株式会社ジャーニーゾーン)

活動目的	COPLIのWEBサイトを改修する
メンバー	リーダー:大橋 一馬(株式会社ジャーニーゾーン)
活動実績	WEBサイトの切り替えを実施した。 https://www.copli.jp/ 2021年度において、サイト切り替えのみ完了していなかったため、サイト切り替えのみ実施、その後、事務局に引き継いだ。
まとめ	以降のメンテナンスについては事務局で行います。 情報発信が適宜行われることを期待したい。

(4)ICTを活用したインクルーシブ社会検討PJ

リーダー 佐合 純(iC株式会社)

活動目的	インクルーシブ社会を実現するためのICT活用方策の検討
メンバー	代表者:佐合 純(iC株式会社)
活動実績	◎ 神戸市 参画推進課×COPLIの取り組み ① 地域福祉センターの利活用の促進(多世代交流事業の実施による利活用主体の多様化)の相談を受け、COPLIとしても中長期的に連携してwin-winな関係を模索し取り組んだ [今期の活動実績] IT地域連携委員会にご協力頂き、ひとまず「六甲アイランド」と「本庄」でプログラミング教室を実際。またプラン表のたたき台を作成し、ふれまち協が依頼しやすい仕組み作りを行った。 [直近3年程の目標] COPLIの強みを生かし、主催のプログラミング体験教室の実施を通して、ふれまち協+地元企業による事業スキームを確立する。まずは、プログラミング教室を一つの切り口として、地域の子どもたちのデジタル教育への関心を高めるとともに地域社会のデジタル化推進にも貢献する。 地元大学生の巻き込みや助成金活動の促進、地元中小企業とふれまち協との連携など、可能な範囲でまずは上記を骨子としてしっかり確立させていくことで息の長い取り組みに育てる。 地域の地元中小企業の社会貢献を地域住民で応援できるスキームが確立できることが望ましい。 ② ICTを活用した自治会活動の支援についての相談を受け、①と同様にどのような取り組みが出来るのかを模索し取り組んだ [今期の活動実績] 2023年2月4日に神戸市コミュニティ相談センターにて行われた自治会活動にオンラインツールを活用することについての意見交換会に参加。各自治会長や区まちづくり課職員を交えて地域活動のデジタル化事例の共有などを行い、COPLIとしても地域企業の関わりの可能性をご説明。 今度どのような展開になるかについては議論できていない

	◎ 神戸市「協働と参画」推進助成の引き継ぎ 前年度までに小山さんが担当されていたプロジェクト「老人クラブ会計システム」のサポートを引き継ぎました。 [今期の活動実績] ご挨拶を兼ねて神戸市 高齢福祉課の田中様をご訪問し、お困りの事案についてサポートを行いました。その際に今後も別事案での相談は可能かと別支援のご相談を頂いた。
まとめ	[活動を通しての気づき] 世間ではDXと言われているが、もっともっと手間の部分で助けを必要としている地域団体はいっぱいいる。ただその人たちが”どこに””なにを”相談したら良いのかが分からず、自治体も分からないのでいつも同じ業者頼みになっている。 せっかくCOPLIに所属している団体がこれだけあるので、その方たちに手助け頂きながら、その方たちが地域と連携を取れる仕組みを作っていきたい。 [活動を通しての反省点] 自分で動く事で精一杯で周りの巻き込みができなかった。会員になっていない同年代の企業も含めて、広い視野で様々な方たちに協力を得ながら、形にしていきたい。 何をしたら良いのか分からない、何が行われているか分からないと感じている所属団体も多いと思うので、そこに向けても具体的な協力依頼を発信したい。

(5) シリコンバレー流エンジニア育成PJ
リーダー 山本 裕計(アイクラフト株式会社)

活動目的	神戸のITエンジニアの人材育成
メンバー	代表者:山本 裕計(アイクラフト株式会社)
活動実績	セミナー「ソフトウェア開発でイノベーションを起こす土壌 ～Googleおよびシリコンバレー文化～」の開催。

	講師 石原 直樹氏(シスメックス株式会社 エグゼクティブエンジニア) Googleではエンジニアが煩わしいことをしなくていいように徹底的に省力化が図られ、利用者向けサービスに展開されている。利用者向けサービスはスケールするかどうかを判断基準にしており、エンジニアが煩わしいことをせずとも、高い収益を上げる土壌となっている。 日時 2023年3月3日(金) 16:00～20:00 場所 神戸レガッタ&アスレチッククラブ 対象 COPLI会員 および 一般参加者 参加費 講演会:無料、懇親会:¥4,000円 参加者数 講演会:29名(会場23名、オンライン6名)、懇親会:18名(講師含む) 経費 ¥42,000
まとめ	神戸出身で、米国Googleで活躍後、神戸に戻り現在はシスメックスでエンジニアとして勤務されている石原直樹氏に講演をしていただいた。石原氏は若手エンジニアの育成プロジェクト「ALPHA PROJECT」にも取り組まれており、COPLIとしても、来年度のALPHA PROJECTに積極的に協力をしていきたい。 来場者は、学生から企業の若手エンジニア、経営・管理層までさまざまであったが、若手参加者からALPHA PROJECTへの関心がうかがえたことは成果であった。

2022年度 収支決算報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

収入の部

(単位:円)

項 目	2021年度 決 算 額	2022年度 予 算 額	2022年度 決 算 額	前年度決算比 (増減)	達成率	備考
会員会費収入	3,020,000	3,000,000	3,085,000	(+65,000)	102.8%	
交流会等参加費ほか・雑収入 (総会・セミナー・情報交流会等)	3,000	300,000	12,000	(+9,000)	4.0%	
委員会・プロジェクト事業収入	0	0	46,990	(+46,990)	—	
預金利息	35	0	35	±0	—	
収 入 合 計	3,023,035	3,300,000	3,144,025	(+120,990)	95.3%	
前年度繰越金	3,423,472	3,831,155	3,831,155			
合 計	6,446,507	7,131,155	6,975,180			

支出の部

(単位:円)

項 目	2021年度 決 算 額	2022年度 予 算 額	2022年度 決 算 額	前年度決算比 (増減)	消化率	備考
常設委員会事業費	205,480	400,000	96,530	(-108,950)	24.1%	
将来構想	121,440		96,530			
IT地域連携						
まちづくり推進	84,040		0			
プロジェクト等事業費	112,085	1,000,000	512,282	(+400,197)	51.2%	
COPLIネットワーキング						
スマートシティ2.0映像都市計画	112,085		420,915			
大阪・関西万博						
WEB改修			47,837			
ICTを活用したインクルーシブ社 会検討						
シリコンバレー流エンジニア育成			43,530			
その他						
広告宣伝費	75,786	600,000	278,040	(+202,254)	46.3%	
広報費	33,220	300,000				
ホームページリニューアル	42,566	300,000	278,040			
年次総会等開催経費	441,156	500,000	795,320	(+354,164)	159.1%	
年次総会	220,936	500,000	466,880			
交流会(2022年12月)	220,220		328,440			
協議会運営経費ほか	1,670,845	1,812,000	1,674,308	(+3,463)	92.4%	
事務局業務委託費	1,584,000	1,584,000	1,584,000			
幹事会会場代	0	48,000	13,500			
サーバー等 設備維持費	74,009	100,000	61,149			
消耗品費	0	50,000	0			
雑費	12,836	30,000	15,659			
支 出 合 計	2,505,352	4,312,000	3,356,480	(+851,128)	77.8%	
次年度繰越金	3,941,155	2,819,155	3,618,700			
合 計	6,446,507	7,131,155	6,975,180			

令和 4 年度 監査報告書

令和 4 年度（令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日）における業務執行状況及び財政状況の監査の結果、法令及び規約に照らし適正に執行されていることを報告します。

令和 5 年 5 月 12 日

地域 ICT 推進協議会 監事

コベルコシステム株式会社 植木 敏彦 

有限会社ビデオクラフト 原山 和繁 

地域ICT推進協議会(COPLI) 役員等一覧(案)

(順不同・敬称略)

- 会 長 永吉 一郎 (株式会社神戸デジタル・ラボ 代表取締役)
- 副 会 長 山本 裕計 (アイクラフト株式会社 代表取締役)
- 監 事 植木 敏彦 (コベルコシステム株式会社 経営企画部 CS・CSR推進グループ)
原山 和繁 (有限会社ビデオクラフト 代表取締役)
- 幹 事 福岡 壯治 (神戸電子専門学校 校長)
本丸 勝也 (リベラ株式会社 取締役)
中嶋 諭 (ソラド株式会社 代表取締役)
岡田 直己 (神戸電子専門学校 教育第1部 IT分野 サブリーダー)
佐合 純 (iC株式会社 代表取締役)
田中 真一 (株式会社デンソーテン イノベーション創出センター
プロジェクトリーダー 兼 Maas推進室)
北村 友和 (株式会社スクラムサイン 代表取締役)
- 事務局長 大橋 一馬 (株式会社ジャーニーゾーン 代表取締役)
- 顧 問 力宗 幸男 (兵庫県立大学名誉教授、株式会社ムーブ 技術顧問)
藤井 信忠 (神戸大学 DX・情報統括本部 情報基盤センター 教授)

2023年度 事業計画 (案)

1. 基本方針

本協議会は、ICT(情報通信技術)に関わる民・学・産と行政によるコンソーシアムであり、主に神戸を中心とする兵庫県域において活動し、そこでの交流を通じたICTによる地域経済の活性化と、多彩な活動を通じた地域や市民への貢献という2つを「基本理念」に掲げている。

この2つの基本理念を実現するため、本協議会では以下に示す4つの「行動方針」を定め、最新の技術動向や地域連携に関するセミナー・イベント等の開催、企業同士あるいは企業と人材を繋ぐマッチング機会の創出、メールマガジン等による有益な情報や会員相互の情報発信などに取り組んできた。

【地域ICT推進協議会 4つの行動指針】

- ①技術向上:会員の技術力の研鑽に努めるとともに、地域に根ざした産学連携を活発にし、ICTを活用した高度な製品・サービスの創出に寄与する。
- ②地域貢献:地域の安心・安全な情報化社会の実現に寄与するとともに、ICTを利活用して地域経済の活性化に取り組む。
- ③人材育成:次世代を担う地域のICT人材の育成に寄与する。
- ④交流・融合:会員相互の交流を通じ、各会員の利益向上に努める。

これまでの取り組みを通じて本協議会の基盤は成熟し、我々が目指してきたICTの普及が多くの人々の暮らしを豊かに発展させてきた。それとともに近年のICTによる急速な社会変化が、地域経済、教育、人々の生活それぞれに新たな課題も生みつつある。

これらの状況を踏まえて新たな運営体制を2020年より発足したが、同年より本格化した新型コロナウイルスによる世界的パンデミックの影響を受け、発足当初より活動制限を余儀なくされる日々が続いた。近隣の団体も活動の自粛や縮小などから会員数を減らし、会の存続が危ぶまれるといった話が後を絶たないなかで、試行錯誤を繰り返しながら活動を継続し、会員数も維持しながらこの厄災期間を耐え抜いたことは同運営体制の大きな成果だと考える。またICTを活用した都市生活のデザインとして「まちづくり」をテーマに取り入れたことで、地元神戸のスマートシティ構想にも関与できたことや、地域の情報化にも具体的に寄与できたことなども成果として挙げられる。

そして2023年、世の中が長く暗いトンネルから抜け出し、以前の賑わいを取り戻しつつある今、当協議会も以前の姿を取り戻すべく、新たな運営体制にて再始動を図る。

当協議会を取り巻く環境や情勢、会員からの要望などにより柔軟な舵取りを行っていくことが前提となるが、まずは基本方針として以下に挙げる内容を目指す。

- ・ここ数年間、オンライン中心となっていた活動をリアルやハイブリッドなものに戻し、視察や交流会などを実施することで会員相互の交流を活性化させる。
- ・運営体制や組織の在り方を常に検討し、よりライブ感やスピード感のある活動を目指す。また会員が参画しやすい組織作りを目指す。
- ・近隣の他団体とも連携を深め、より地域に根差した活動を行う。

2. 活動内容

基本方針に掲げた内容を実現するため、またコロナ禍以前の姿を取り戻すため、昨年度までの組織体制を基本としつつ、コロナ禍以前の体制も重ね合わせた新しい組織体制を構築し、今年度の活動を行う。具体的にはこれまでであった「委員会」「プロジェクト」という枠組みはそのままに、新たに「勉強会」という枠を設け、会員相互の繋がりやすさや活動への参画のしやすさを向上させる。

(1) 委員会

常設。当協議会運営の骨格となる組織と位置付け、その長は当協議会の役員が務める。

(各委員会の担当活動については組織図を参照)

委員会名	活動目的
視察委員会	視察やセミナー等を通じて学びを得るだけでなく、これまでオンライン中心だった活動をリアルやハイブリッドなものへと回帰させ、会員相互の交流を活性化させる。
交流委員会	
企業支援委員会	会員の多数を占める企業会員への支援を実施し、会員メリットを提供する。
学生支援委員会	企業会員に次いで多い学校関係会員およびそこに在籍する学生への支援を実施し、会員メリットを提供するとともに、若者の地域定着を促進する。
地域貢献委員会	当協議会の行動方針のひとつである「地域貢献」を実現する。 また昨年度までの活動成果である「地域の情報化」についても継続して取り組む。
スマートシティ推進委員会	昨年度までの活動成果のひとつ「スマートシティ関連活動への関与」について今年度も継続して取り組み、会員が当協議会を通じて地域のスマートシティ化に寄与できる環境を構築する。
次世代委員会	当協議会の継続的な発展の鍵を握る若い世代の活躍。若い世代が協議会活動に参加しやすい土壌を作る。

(2) プロジェクト

具体的かつ単一な目的を達成するために作られ、目的を達成すれば基本的に解散となる組織。2023年度は昨年度から継続して活動を行う以下のプロジェクト群でスタートを切る。なおプロジェクトは会員からの申請によりいつでも立ち上げることができる。

プロジェクト名	活動目的
スマートシティ2.0映像都市計画プロジェクト	各種団体が共同利用できるスマートシティプラットフォームの構築を目指す。
シリコンバレー流エンジニア育成プロジェクト	石原氏(シスメックス)と共にシリコンバレー流エンジニア育成プロジェクトの展開を図る。

(3) 勉強会

特定の技術や知識を会員同士が情報交換しながら学ぶ会。プロジェクトとは異なり具体的な目標設定は必要なく、会員の技術研鑽や情報交換、交流などが主な目的となる。プロジェクト同様に会員からの申請によりいつでも立ち上げることができる。

(4) 事務体制

2020年からこれまで、事務体制の整備として事務局長と事務局業務の分離を進めてきた。これにより事務局長が協議会運営に注力できるなど一定の成果は得られたが、今回の基本方針で掲げるライブ感やスピード感を事務体制が中心となって推し進めていくには、分離による指示系統の遅延や業務の重複などが課題となることが予想される。これまでの試みで得られた成果は協議会として共有しつつ、2023年度の事務体制としては事務局長と事務局業務を一体化させた体制へと戻し、基本方針の実現を目指す。

3. その他

(1) 総会

年度初め(4～5月頃)に開催し、全会員出席のもと、協議会運営に関わる総合的な意思決定を行う。

(2) 幹事会

月に1回程度の頻度で、役員およびプロジェクトや勉強会のリーダーが集まり、協議会運営に関わる詳細な意思決定を行う。

(3) 広報活動

マスコミへの情報提供やメルマガによる情報発信など、当協議会活動のPRを行う。

(4) 他団体との連携

関西域で活動する他団体や教育機関、行政機関との連携や事業協力に努める。

(5) 会員数の拡大

協議会活動をより活性化させるため、会員数の拡大に努める。

2023年度 事業体制（案）

会長	永吉 一郎（神戸デジタル・ラボ）
副会長	山本 裕計（アイクラフト）
事務局長	大橋 一馬（ジャーニーゾーン）

顧問	力宗 幸男（個人会員） 藤井 信忠（神戸大学）
監事	植木 敏彦（コベルコシステム） 原山 和繁（ビデオクラフト）

【委員会】

常設。COPLIの基本活動を担う骨格組織。

【プロジェクト】

委員会とは別に単一の目的のためだけに作られる組織。目的を達成すれば解散。

【勉強会】

特定の技術や知識を会員同士が情報交換しながら学ぶ会。解散時期は任意。

視察委員会
国内外への視察イベント開催
福岡 壮治（神戸電子専門学校）

スマートシティ2.0映像都市計画 PJ
各種団体が共同利用できるスマートシティプラットフォームの構築を目指す
末廣 大和（Intelligence Design）

交流委員会
会員同士や他団体との交流機会創出 セミナーや講演会の開催
本丸 勝也（リペラ）

シリコンバレー流エンジニア育成 PJ
シスメックス石原氏と共にシリコンバレー流エンジニア育成プログラムを展開
山本 裕計（アイクラフト）

企業支援委員会
ビジネスマッチングや案件紹介 合同社員研修等の教育支援
中嶋 諭（ソラド）

学生支援委員会
インターンシップや就活の支援 会員企業とのマッチング 社会活動への参加支援
岡田 直己（神戸電子専門学校）

地域貢献委員会
地域活動への協力や地域貢献 自治体と連携した地域課題解決
佐合 純（iC）

スマートシティ推進委員会
地域のスマートシティ化推進 同分野における他団体や自治体との連携
田中 真一（デンソーテン）

次世代委員会
若手会員による若手会員のための活動（交流会やセミナー等）
北村 友和（スクラムサイン）

2023年度 委員会・プロジェクト 活動計画(案)

1. 常設委員会

(1) 視察委員会

委員長 福岡壯治(神戸電子専門学校)

活動目的	会のビジョン延長線上に位置する先進地域や集約イベントの視察を計画し、会員に提供する
活動計画	昨年度まで将来構想委員会が担っていた、会の視察機能を継承する。COPLIのビジョン延長線上に位置する「先進地域」やそれらを集約した「イベント」の視察を計画し、広く会員に参加を募り、同旅行を運営する。ここ3年間、コロナ禍で叶わなかった対面での情報、人脈、地脈との接触の取り返しを図る。 知識ICT推進観点、COPLIのビジョンにまつわるテーマとして、今年度は特に以下への着目を強化する。 ・スマートシティ ・AI、ビッグデータ、データサイエンス活用 ・デジタルガバメント 視察場所、回数は委員会開始後に協議してゆく。 計画事例(案) ・SXSW(サウス・バイ・サウス・ウエスト)視察: 2024 3/8 - 16 テキサス州オースチン市 ・Smart City Expo World Congress視察: 2023 11/7 -9 バルセロナ市(姉妹都市30周年) ・エストニア、シンガポール、ベルリン(GDPR)のオンライン視察: スマートシティテーマ、現地在住日本人(或いは日本語を話せる)コーディネータと接続 ・京大ベンチャー棟入居某社: 警視庁L1システム(リレー捜査指令室)視察 他

(2) 交流委員会

委員長 本丸 勝也(リベラ株式会社)

活動目的	・会員同士や他団体との交流機会を創出 ・セミナーおよび講演会の開催
------	--

活動計画	・視察および交流 県内外の企業または団体活動への視察および交流2～3回/年(不定期) ・学びの場の創出 リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッド形式として、勉強会(セミナー等)を開催 ※視察候補、セミナー候補等、会員の皆様からのリクエストも随時募集いたします
------	---

(3) 企業支援委員会

委員長 中嶋 諭(ソラド株式会社)

活動目的	会員の多数を占める企業会員への支援を実施し、会員メリットを提供する。
活動計画	【活動方針】 組織図にもある通り、以下のキーワードを活動の軸とし、企業会員様が「COPLIに入会して良かった」と感じていただけるような会員メリットを提供する。 ・ビジネスマッチング ・案件紹介 ・社員教育支援 また同様の活動は昨年度まで「IT地域連携委員会」が行ってきており、その成果や継続中の活動を引き継ぎつつ、新たな要素も加えて今年度の活動を組み立てる。 ・COPLIホームページ上での会員情報の発信 ・会員企業と地元学生とのマッチング ・地域の情報化支援(地域福祉センターの利活用) など。 これらは今年度から発足する「学生支援委員会」「地域貢献委員会」の活動とも重複する部分があるため、各委員会と緊密に連携を取りながら(場合によっては合同で)活動を進めていく。 【活動計画】 ・ビジネスマッチングイベントの開催(年1回) ・ビジネス連携を目的としたオンラインでの交流の場や機会の創出 ・行政案件やCOPLIへの依頼案件の紹介(随時) ・講師を招いた合同社員研修(年2～3回)

	・IT地域連携委員会で継続中の活動の引き継ぎ ・その他、会員メリットに繋がるイベントや場を検討
--	--

(4) 学生支援委員会

委員長 岡田 直己(神戸電子専門学校 教育第1部 IT分野 教員)

活動目的	インターンシップや就活の支援 会員企業とのマッチング 社会活動への参加支援
活動計画	【活動方針】 COPLI 4つの行動指針(平成20年3月)の「③人材育成:次世代を担う地域のICT人材の育成に寄与する。」をCOPLI内で中心的に担い、上記活動目的を推進して行く また、人材育成を軸に 「①技術向上(産学連携を軸に)」「②地域貢献(若者に選ばれる神戸を軸に)」「④交流・融合(産官学の相互的な発展を軸に)」支援をして行く 【活動計画】 ・兵庫,神戸を中心に各教育機関の学生と各企業様をつなぐインターンシップ等の企画を検討し、Afterコロナの就活を支援する(年:2回ほど) オンライン・オフラインのハイブリッド展開でコロナ禍の知見を活かす ・神戸市神戸エンジニア創出事業(3期目)※Kobe×Engineer's Lab と協調し企業様と学生のマッチング、学生の学習支援を行う(随時) https://www.city.kobe.lg.jp/a14333/629217872245.html ・学生の社会活動(産学連携も含め)参加支援し、実践的な学びの機会を増やす(随時) ・COPLI内の他員会,PJと連携し学生の活動の場を増やす(随時)

(5) 地域貢献委員会

委員長 佐合 純(iC株式会社)

活動目的	・地域活動への協力や地域貢献 ・自治体と連携し、地域課題解決
活動計画	◎方針 COPLIの行動指針でもある地域貢献(地域の安心・安全な情報化社会の

	実現に寄与、ICTを利活用した地域経済の活性化への取り組み)の実現を中心に据え、自治体や他団体とも連携しながらCOPLIの存在価値と提供価値を示せるWin-Winな仕組みを作り、小さくてもまずは実行していきます。 縦割りにならずグラデーションに検討できるように「企業支援委員会」「学生支援委員会」と蜜に連携を取り、柔軟に活動を進めていく。 ◎具体的な活動 - 継続 - ・神戸市 地域協働局(旧:参画推進課)との連携プロジェクト (地域福祉センター活用推進の目的で子ども向けプログラミング教室の実施) ・老人クラブの会計システムの支援 - NEW - ・自治体からのICTに関するお困りごとの相談窓口 ・(分野限らず)他団体からのICTに関するお困りごとの相談窓口 ・ICT x ○○な面白い取り組みをされている方を招いた講演会 ・地域イベントにCOPLIとして参加
--	--

(6)スマートシティ推進委員会

委員長 田中 真一(株式会社デンソーテン)

活動目的	再開発進む市街エリアにおいてICTサービスで課題解決を図る。市民・来街者がワクワクと楽しめる街づくりを支援(回遊性向上)、街全体を活性化する取組みをCOPLIとして支援する。
活動計画	引続き、KOBESmartシティ推進コンソーシアムの登録プロジェクトである、「市街回遊・移動創出／地域活性化」の取組みに同調し、商業施設のDXや移動手段の安全性・効率性に関する取組みを行う。



5月度:スマートシティ推進コンソーシアム活動状況の共有と、COPLI連携探索

6月度:回遊誘引先となる商業施設の声を聴き、人流などのデータを元に、提供価値を考え、ソリューションを検討

7月度:市会議員懇談、新しい移動手段となるキックボード運営企業等へのヒアリング、KOBEスマートシティ推進コンソーシアムへの提言

8-9月度:商業施設へのソリューション提案、COPLIによる実証実験参加のプロモーション

10-12月度:実証実験の支援

1-3月度:成果発表。課題検討と、COPLI会員企業による連携検討、シナリオ検討

(7)次世代委員会

委員長 北村 友和(株式会社スクラムサイン)

活動目的	当協議会の継続的な発展の鍵を握る若い世代の活躍。若い世代が協議会活動に参加しやすい土壌を作る。
活動計画	方向性 次世代委員会そのものが楽しく運営でき、委員会活動自体が次世代のメンバーで盛り上がっていきけるように今年度は土台をつくっていきたいと考えています。 具体的な活動 最初の数ヶ月は会員企業の若手ヒアリング(協力を依頼し2~3社程度実施予定) 交流会の企画 内容をもとに講師を呼んでの講習会等・勉強会の企画。 交流会などを実施する場所は私自身が運営しているDEP.で開催

2. プロジェクト

(1) スマートシティ 2.0 映像都市計画プロジェクト

プロジェクトリーダー 末廣 大和 (Intelligence Design株式会社)

活動目的	スマートシティ推進組織として、データ利活用をCOPLIが積極的に推進していることを体外的にアピールする。 COPLIプラットフォームへAIカメラデータ以外のデータの連携を模索するかつ、データを会員企業を中心に公開しディスカッションをしながら活用用途を検討する。
活動計画	前年度の活動を継続し、AIによるデータ解析とCOPLI専用のダッシュボード検討を行います。データ利活用方法の検討は、神戸市のイベントを活用することで具体的な活用方法についてディスカッションを実施します。また、前年度は未実施に終わったメディアを通じたPRを行い、本活動のアピールを行う。 【COPLIダッシュボードの強化検討】 1. 前年度に着手したCOPLIダッシュボードへの追加機能及び連携データの検討を実施 2. 検討した機能の追加実装(リソースの許す限り) 3. 三宮センター商店街さまの映像を解析し、ダッシュボードへ表現することに加え、商店街におけるデータ可視化のメリットについてディスカッションを実施 4. (新たな場所(商店街以外)へカメラを設置を検討し、可能であれば追加解析を行う) 【プロジェクトのPR活動】 1. 三宮センター商店街様との取り組み内容を記事化し、プレスリリースやメールマガジンでのCOPLI会員／非会員へのアピール(プレスリリースはID & COPLIという表現にできるとIDの持ち出しで利用可能だと考えている※案の一つとして) 2. COPLIとしての取り組みを拡げるためのWebinarを企画し、年2回程度の実施

(2) シリコンバレー流エンジニア育成プロジェクト
プロジェクトリーダー 山本 裕計(アイクラフト株式会社)

活動目的	神戸のITエンジニアの人材育成
活動計画	【活動方針】 元Googleエンジニアの石原 直樹氏(シスメックス株式会社 エグゼクティブエンジニア)が中心になって活動するエンジニア育成プロジェクト「ALPHA PLUSプロジェクト」。人材育成に注力するCOPLIの想いと一致しているので、協力をして取り組んでいく。 具体的には、以下のような協力を想定している。 ・受講生、ティーチングアシスタントを会員企業から輩出 ・会場の提供(神戸電子専門学校ほか) ・管理業務の受託 【活動計画】 ・ブートキャンプ 2023年7月ごろ ・キャンプ 毎月1回

2023年度 収支予算書(案)

(2023年4月1日～2024年3月31日)

収入の部

(単位:円)

項 目	2022年度 予 算 額	2022年度 決 算 額	2023年度 予 算 額	前年度予算比 (増減)	備 考
会費収入	3,000,000	3,085,000	3,000,000	(±0)	
交流会等参加費ほか雑収入	300,000	12,000	0	(-300,000)	
事業収入	0	46,990	0	(±0)	
預金利息	0	35	0	(±0)	
収 入 合 計	3,300,000	3,144,025	3,000,000	(-300,000)	
前年度繰越金	3,831,155	3,831,155	3,618,700		
合 計	7,131,155	6,975,180	6,618,700		

支出の部

(単位:円)

項 目	2022年度 予 算 額	2022年度 決 算 額	2023年度 予 算 額	前年度予算比 (増減)	備 考
委員会(常設) 事業費	400,000	96,530	1,000,000	(+600,000)	
視察委員会					
交流委員会					
企業支援委員会					
学生支援委員会					
地域貢献委員会					
スマートシティ推進委員会					
次世代委員会					
プロジェクト事業費	1,000,000	512,282	600,000	(-400,000)	
スマートシティ2.0映像都市計画					
シリコンバレー流エンジニア育成					
その他					
勉強会事業費	0	0	200,000	(+200,000)	
その他					
広告宣伝費	600,000	278,040	200,000	(-400,000)	
年次総会等開催経費	500,000	795,320	500,000	(±0)	
協議会運営費 ほか	1,812,000	1,674,308	1,796,800	(-15,200)	
事務局業務委託費	1,584,000	1,584,000	1,584,000		¥132,000×12ヶ月
幹事会会場代	48,000	13,500	52,800		¥4,400×12回
サーバー等 設備維持費	100,000	61,149	100,000		
消耗品費	50,000	0	30,000		
雑費	30,000	15,659	30,000		
支 出 合 計	4,312,000	3,356,480	4,296,800	(-15,200)	
次年度繰越金	2,819,155	3,618,700	2,321,900		
合 計	7,131,155	6,975,180	6,618,700		

地域ICT推進協議会(COPLI) 会員一覧

(50音順)

2023年5月25日現在

<一般会員> (60団体・4個人)

- アイクラフト株式会社
- 株式会社アイザシステムズ
- iC株式会社
- iPresence合同会社
- アット・タナカ
- 株式会社アルファミクス
- 株式会社イージャン
- インタービジネスネットワーク
- インターメッシュジャパン株式会社
- Intelligence Design株式会社
- 株式会社NTTデータ関西
公共ソリューション事業部
- オーバーライト株式会社
- 株式会社高知電子計算センター
- 株式会社神戸デザインセンター
- 株式会社神戸デジタル・ラボ
- 神戸市 企画調整局
- 神戸商工会議所
- 株式会社神戸新聞社
- コベルコシステム株式会社
- コベルコソフトサービス株式会社
- 株式会社コネクトファクトリー
- 株式会社さくらケーシーエス
- 株式会社サルード
- 株式会社サンテレビジョン
- 株式会社山電情報センター
- 有限会社SEAS
- 株式会社ジェイコムウエスト
- 株式会社システムリサーチ
- 株式会社ジャーニージーン
- 株式会社ジャム・デザイン
- 株式会社スクラムサイン
- ソラド株式会社
- CiPPo株式会社
- ディアシステム株式会社
- 株式会社DIIIG
- 株式会社デンソーテン
- 株式会社ドアズ
- 株式会社ドーン
- 株式会社ドコモCS関西 神戸支店
- 西日本電信電話株式会社 兵庫支店
- 日本電気株式会社 神戸支社
- 株式会社日本ビジネスデーター
プロセッシングセンター
- 日本ポイントソフト株式会社
- 有限会社パウゼ
- ネクストジェネレーション株式会社
- 株式会社パソナグループ
- 株式会社ハック
- 株式会社日立製作所
- 有限会社ビデオクラフト
- ペタビット株式会社
- 株式会社三井住友銀行
- 株式会社ものづくりアドバンス
- モラブ阪神工業株式会社
- 株式会社ユーシシステム
- ユニタスグローバル株式会社
- 株式会社夢工房
- 株式会社RIGADEL
- リベラ株式会社 神戸支社
- 六甲トライデント株式会社
- 株式会社ワイドソフトデザイン

＜特別会員＞（28団体・8個人）

- 専門学校アートカレッジ神戸
- 明石市
- 沖縄県 大阪事務所
- 関西職業能力開発促進センター
- 京都産業大学
- 近畿経済産業局
- 神戸市看護大学
- 神戸市小売市場連合会
- 神戸松蔭女子学院大学
- 神戸芸術工科大学
- 神戸市外国語大学
- 神戸市立工業高等専門学校
- 公益財団法人神戸市産業振興財団
- 神戸大学大学院 工学研究科
- 神戸大学 DX・情報統括本部
- 神戸電子専門学校
- 神戸情報大学院大学
- 甲南大学
- 阪本株式会社
- 須磨学園高等学校・中学校
- 洲本市
- 総務省 近畿総合通信局
- 兵庫県
- 兵庫県立大学
- 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
- 兵庫職業能力開発促進センター
- 国立研究開発法人 理化学研究所 計算科学研究センター
- 流通科学大学

発行:地域ICT推進協議会 事務局

〒650-0044

兵庫県神戸市中央区東川崎町1-8-4

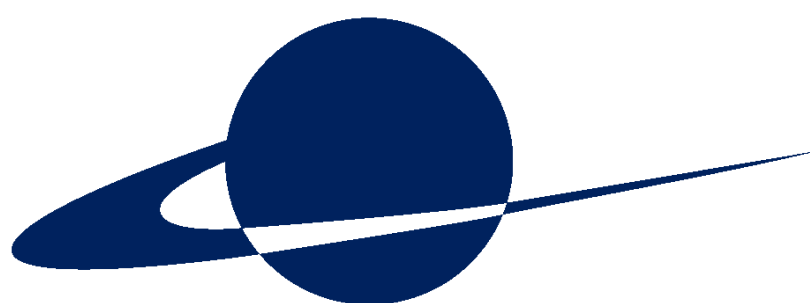
神戸市産業振興センター7F

株式会社ジャーニーゾーン内

TEL:078-335-6245

E-mail:jimu@copli.jp

URL:<https://copli.jp>



COPLI